

2017年度 同朋教学部研修会のご案内

福岡組の皆様

福岡組同朋教学部 部長 松尾一

テーマ 開発と環境破壊 ～日本住血吸虫病と筑後川の開発～

【研修会のねらい】

近代以前（江戸時代）に、私たちが生きる列島社会は、里山・里村という村落景観を作り上げます。里山は造林した落葉樹に包まれ、大堤防に護られた小川（用水路）が張り巡らされ、ため池を貯えた田畑・家禽を風景とする人造のムラです。河川改修・堤防建設・灌漑工事で整えられた人造世界にムラ・マチが建設されたわけです。

よく知られている「春の小川はさらさら・・・」（文部省唱歌）とうたわれる里山・里村人造世界で、村という総合生産施設であったわけです。里山建設に当たっては、河川の流れ、灌漑用水・ため池を造り、薪炭と腐葉土生産の雑木林、田畑というムラ開発で成り立ちます。

自然に手を加えた人造社会には、必然的に開発に伴う環境破壊が伏在しました。一部の里村では、感染症の原因となる寄生物を育てる温床も増幅されました。現在の日本国内では、感染症の原因となる寄生物の対策も取られ、風土病・地方病といわれた感染症の根絶が近づいたという声もあります。今回、同朋教学部では、筑後川流域の開墾地帯で生じた「日本住血吸虫病」と、その要因となるムラの開発と環境破壊を取り上げます。ご講師には環境倫理学・工学倫理の専門的研究者の藤木篤先生をお招きします。公開講座への参加のほどをお願いいたします。

合掌

講師 藤木 篤 師 久留米工業高等専門学校准教授(哲学・環境倫理学)

日時 2017年9月29日(金) 15時～17時15分まで

会所 覚永寺 福岡市博多区祇園町4番9号 092-281-6553

【次第】

- 14:30 受付
- 15:00 勤行(重誓偈)
- 15:10 同朋教学部長挨拶・講師紹介
- 15:20 講義①
- 16:00 休憩
- 16:15 講義②
- 16:55 質疑応答
- 17:10 組長挨拶

※当初、部内では現地研修会を予定しておりましたが、再検討した結果、講義形式になりましたことご了承ください。加えて案内が直前になり、ご迷惑をおかけいたしました。

※研修会後には懇親会を予定しております。出欠は当日に取りますのでぜひご参加ください。